横浜市交通局

～ブルーライン 4000 形車両の導入～

1　はじめに

横浜市交通局ブルーラインでは平成５年に導入した 3000A 形車両の老朽化が進んでおり、この車両の更新に向け、新たな形式となる 4000 形車両を新造し、令和４年５月２日より営業運行を開始しましたので、その概要を紹介します。

2　4000 形車両の特徴

（1）デザイン

エクステリアは、港町横浜のイメージから『海辺の先進的な都会感』をコンセプトとし、凛とした佇まいとスピード感を感じさせるものとしています。インテリアにはガラスを多用して開放感を演出しました。

＜図１　インテリア＞

＜図２　車両外観＞

（2）車内設備

車内セキュリティカメラの導入や、バリアフリーの深度化のため、車いす・ベビーカーエリアの床面にエリア標記を設けるとともに、腰当付き握り棒を二段手すり化し、非常通報器も低く設置しまいた。また、ドア開閉予告表示灯や誘導鈴を設けるなど、お客様にとって、より安全で快適な車両となるよう工夫を施しました。

＜図３　車いす・ベビーカーエリア＞

（3）乗務員室

インパネ内で各種情報が総覧できるように、ホーム画像モニタに 15 インチ大型画面を採用し、計器類を正面に配置するなど、運転姿勢を大きく変えることなく各機器の操作が行える配置としました。

＜図４　乗務員室運転台＞

（4）省エネルギー化

SiC を使用した制御装置や補助電源装置、高効率モーターの採用、灯・照明類の全 LED などの省エネルギー化の推進を目指しました。

（5）諸元及び基本性能

車両は 18m 車の 4M2T、6 両固定編成で、両先頭車はＴ車、中間車４両がＭ車です。

基本性能は、営業最高速度 80km/h、加速度 3.2 km/h/s、常用減速度 3.5 km/h/s、非常減速度 4.5 km/h/s としています。

3　おわりに

ご協力いただいた関係各位の皆様に、誌面をお借りし、心より御礼申し上げます。

〈問い合わせ〉横浜市交通局技術管理部車両課
TEL:045-671-3178